

Patent number: JP11306120  
 Publication date: 1999-11-05  
 Inventor: MORI KOICHI  
 Applicant: RICOH CO LTD

Also published as:

US6470379 (B1)

Classification:

- International: G06F13/00; G06F13/00; H04L12/54; H04L12/58;  
 H04M11/00; H04N1/00; H04N1/32

- european:

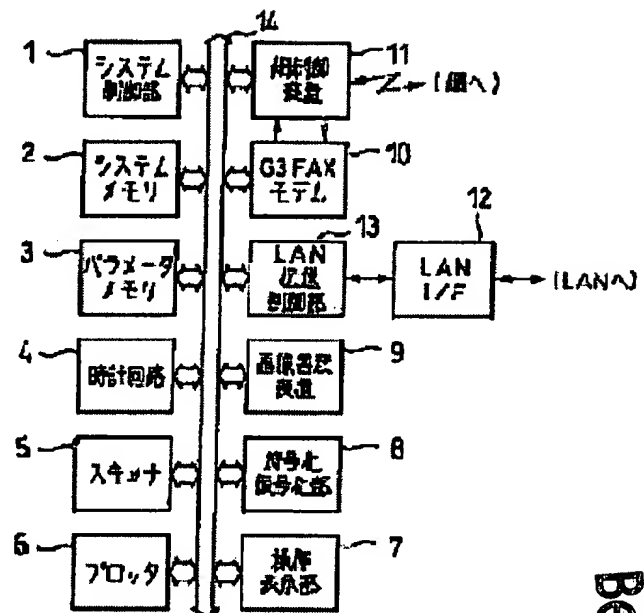
Application number: JP19980123939 19980420

Priority number(s):

Abstract of JP11306120

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To facilitate search for a desired electronic mail by adding the contents of transmitter's proper information to the from field or subject-field of an electronic mail that is received from internet facsimile equipment.

**SOLUTION:** An originating user sets a transmitting original to a scanner 5 and inputs information on a transmitting destination. Then the user inputs the transmitter's proper information on his own mail address, etc., by means of a key, etc., of an operation display part 7. The contents of inputted information are analyzed, and if the contents of the transmitter's proper information show a mail address, the above contents are added to the from-field of the relevant electronic address. If the above contents show an address other than the mail address, the contents are added to the subject field of the electronic mail. Thus, the user who receives electronic mails can easily search for his desired mail based on the display contents of the originator's name.



Data supplied from the [esp@cenet](mailto:esp@cenet) database - Worldwide

Best Available Copy

特開平11-306120

(43) 公開日 平成11年(1999)11月5日

(51) Int.Cl. <sup>*</sup>	識別記号	F I	
G 0 6 F 13/00	3 5 4 3 5 1	G 0 6 F 13/00	3 5 4 Z 3 5 1 G
H 0 4 L 12/54		H 0 4 M 11/00	3 0 3
12/58		H 0 4 N 1/00	1 0 7 A
H 0 4 M 11/00	3 0 3	1/32	Z

審査請求 未請求 請求項の数 4 F D (全 11 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願平10-123939

(22) 出願日 平成10年(1998)4月20日

(71) 出願人 000006747

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1丁目3番6号

(72) 発明者 森 幸一

東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式  
会社リコー内

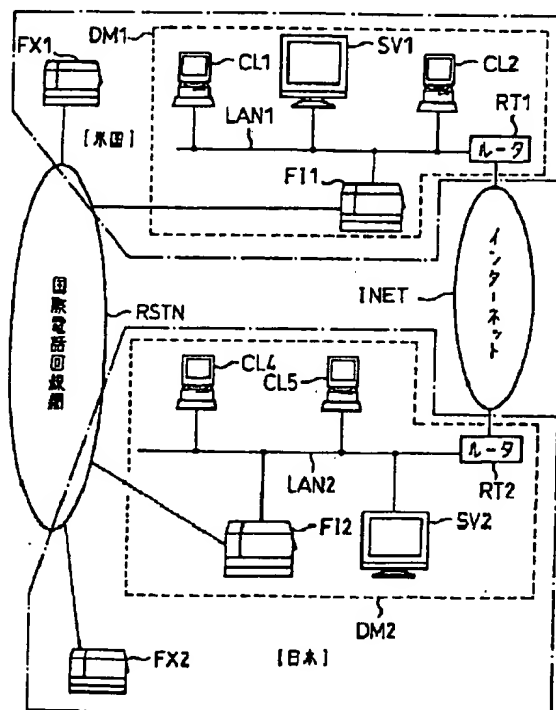
(74) 代理人 弁理士 紋田 誠

(54) 【発明の名称】 インターネットファクシミリ装置

(57) 【要約】

【課題】 同一インターネットファクシミリ装置から複数の電子メールを受信したユーザの不便を解消することのできるネットワークファクシミリ装置を提供することを目的としている。

【解決手段】 インターネットファクシミリ装置から受信した電子メールの From フィールドまたは Subject フィールドには、送信者固有情報の内容が配置されるため、ユーザは、電子メールの一覧情報の内容を参照してそれぞれの電子メールの内容の予想をすることができ、所望する電子メールを容易に探し出すことができるという効果を得る。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 専用線を介して、あるいは、ダイヤルアップ機能によりインターネットサービスプロバイダに接続されたローカルエリアネットワークに接続され、ローカルエリアネットワーク上およびインターネット上での電子メールのやりとりの機能を備えるとともに、一般公衆回線を使用して所定のファクシミリ伝送手順により画情報伝送を行う機能を少なくとも備えたインターネットファクシミリ装置において、送信者固有の送信者固有情報を入力する送信者固有情報入力手段を備え、画情報送信時、指定された宛先情報がメールアドレスの場合には、送信画情報を電子メールを用いて送信するとともに、上記送信者固有情報入力手段により入力された送信者固有情報の内容がメールアドレスである場合には上記電子メールのFromフィールドの値にその送信者固有情報の内容を配置する一方、上記上記送信者固有情報入力手段により入力された送信者固有情報の内容がメールアドレス以外の場合には上記電子メールのSubjectフィールドの値にその送信者固有情報の内容を配置することを特徴とするインターネットファクシミリ装置。

【請求項2】 専用線を介して、あるいは、ダイヤルアップ機能によりインターネットサービスプロバイダに接続されたローカルエリアネットワークに接続され、ローカルエリアネットワーク上およびインターネット上での電子メールのやりとりの機能を備えるとともに、一般公衆回線を使用して所定のファクシミリ伝送手順により画情報伝送を行う機能を少なくとも備えたインターネットファクシミリ装置において、送信者固有の送信者固有情報を入力する送信者固有情報入力手段と、送信メールの属性を入力するためのメール属性情報入力手段を備え、画情報送信時、指定された宛先情報がメールアドレスの場合には、送信画情報を電子メールを用いて送信するとともに、上記送信者固有情報入力手段により入力された送信者固有情報の内容がメールアドレスである場合には上記電子メールのFromフィールドの値にその送信者固有情報の内容を配置する一方、上記上記送信者固有情報入力手段により入力された送信者固有情報の内容がメールアドレス以外の場合には上記電子メールのSubjectフィールドの値にその送信者固有情報の内容を配置するとともに、上記メール属性情報入力手段より送信メールの属性が入力された場合には、その入力された属性の内容を上記電子メールのSubjectフィールドの値に付加することを特徴とするインターネットファクシミリ装置。

【請求項3】 専用線を介して、あるいは、ダイヤルアップ機能によりインターネットサービスプロバイダに接

続されたローカルエリアネットワークに接続され、ローカルエリアネットワーク上およびインターネット上での電子メールのやりとりの機能を備えるとともに、一般公衆回線を使用して所定のファクシミリ伝送手順により画情報伝送を行う機能を少なくとも備えたインターネットファクシミリ装置において、

少ないキー操作で宛先情報を指定操作可能な短縮ダイヤル手段を備え、

上記短縮ダイヤル手段には、宛先情報がメールアドレスの場合、その宛先情報に関連して、送信者固有の送信者固有情報も登録され、

画情報送信時、上記短縮ダイヤル手段により指定された宛先情報がメールアドレスの場合には、送信画情報を電子メールを用いて送信するとともに、上記短縮ダイヤル手段に、上記宛先情報に関連して記憶されている送信者固有情報を読み出し、その送信者固有情報の内容がメールアドレスである場合には上記電子メールのFromフィールドの値にその送信者固有情報の内容を配置する一方、上記上記送信者固有情報入力手段により入力された送信者固有情報の内容がメールアドレス以外の場合には上記電子メールのSubjectフィールドの値にその送信者固有情報の内容を配置することを特徴とするインターネットファクシミリ装置。

【請求項4】 専用線を介して、あるいは、ダイヤルアップ機能によりインターネットサービスプロバイダに接続されたローカルエリアネットワークに接続され、ローカルエリアネットワーク上およびインターネット上での電子メールのやりとりの機能を備えるとともに、一般公衆回線を使用して所定のファクシミリ伝送手順により画情報伝送を行う機能を少なくとも備えたインターネットファクシミリ装置において、

送信メールの属性を入力するためのメール属性情報入力手段と、

少ないキー操作で宛先情報を指定操作可能な短縮ダイヤル手段を備えるとともに上記短縮ダイヤル手段には、宛先情報がメールアドレスの場合、その宛先情報に関連して、送信者固有の送信者固有情報も登録され、

画情報送信時、上記短縮ダイヤル手段により指定された宛先情報がメールアドレスの場合には、送信画情報を電子メールを用いて送信するとともに、上記短縮ダイヤル手段に、上記宛先情報に関連して記憶されている送信者固有情報を読み出し、その送信者固有情報の内容がメールアドレスである場合には上記電子メールのFromフィールドの値にその送信者固有情報の内容を配置する一方、上記上記送信者固有情報入力手段により入力された送信者固有情報の内容がメールアドレス以外の場合には上記電子メールのSubjectフィールドの値にその送信者固有情報の内容を配置するとともに、上記メール属性情報入力手段より送信メールの属性が入力された場合には、その入力された属性の内容を上記電子メールの

Subjectフィールドの値に付加することを特徴とするインターネットファクシミリ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、専用線を介して、あるいは、ダイヤルアップ機能によりインターネットサービスプロバイダに接続されたローカルエリアネットワークに接続され、ローカルエリアネットワーク上およびインターネット上での電子メールのやりとりの機能を備えるとともに、一般公衆回線を使用して所定のファクシミリ伝送手順により画情報伝送を行う機能を少なくとも備えたインターネットファクシミリ装置に関する。

【0002】

【従来の技術】従来より、専用線を介して、あるいは、ダイヤルアップ機能によりインターネットサービスプロバイダに接続されたローカルエリアネットワークに接続され、ローカルエリアネットワーク上およびインターネット上での電子メールのやりとりの機能を備えるとともに、一般公衆回線を使用して所定のファクシミリ伝送手順により画情報伝送を行う機能を少なくとも備えたインターネットファクシミリ装置が実用されている。

【0003】このようなインターネットファクシミリ装置を利用すると、例えば、その中継機能を利用することで、ローカルエリアネットワークに接続されているワークステーション装置（パーソナルコンピュータ装置など）と、外部の一般公衆網に接続されているファクシミリ装置との間で画情報伝送が可能となり、非常に便利である。

【0004】また、インターネットファクシミリ装置が専用線を介してインターネットサービスプロバイダに接続されている場合には、インターネットファクシミリ装置間の通信については、追加の費用が加算されないの  
30 で、インターネットファクシミリ装置の中継機能を利用すると、遠隔地間に配置されたファクシミリ装置間の画情報通信にかかる通信費用を大幅に削減できるというメリットもある。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】さて、インターネットファクシミリ装置では、ローカルエリアネットワークに接続されているワークステーション装置との間で画情報をやりとりするとき、あるいは、インターネットを介して他のインターネットファクシミリ装置との間で画情報をやりとりするときには、その通信アプリケーションとして、電子メールが用いられている。

【0006】一方、インターネットを利用する電子メールには、そのデータ形式やプロトコルなどが規定されており、それぞれの電子メールのヘッダ情報には、宛先ユーザのメールアドレス（Toフィールド）のほかに、発信ユーザのメールアドレス（Fromフィールド）や、本文情報の内容をあらわす件名情報（Subjectフ  
40

ールド）などの種々の有意な情報が付加されている。

【0007】ところが、従来のインターネットファクシミリ装置では、電子メールのヘッダ情報のFromフィールドやSubjectフィールドには、使用するユーザの如何に問わず、インターネットファクシミリ装置に固有の情報が付加されていたため、同一インターネットファクシミリ装置から複数の画情報が配信されたユーザは、受信日時（あるいは送信日時）のみが異なり、発信者名と件名が同じ複数の電子メールを受信することになる。

【0008】すなわち、この場合、ワークステーション装置のユーザが電子メールの一覧情報を表示させると、例えば、図14に示すような内容が表示される。

【0009】このようにして、同一インターネットファクシミリ装置から複数の電子メールを受信したユーザは、図14に示したような電子メールの一覧情報からはそれぞれの電子メールの内容を伺い知ることができず、所望の画情報がある場合には、全ての電子メールの内容を表示させて探し出す必要があり、非常に不便であった。

【0010】本発明は、かかる実情に鑑みてなされたものであり、同一インターネットファクシミリ装置から複数の電子メールを受信したユーザの不便を解消することのできるネットワークファクシミリ装置を提供することを目的としている。

【0011】

【課題を解決するための手段】本発明は、専用線を介して、あるいは、ダイヤルアップ機能によりインターネットサービスプロバイダに接続されたローカルエリアネットワークに接続され、ローカルエリアネットワーク上およびインターネット上での電子メールのやりとりの機能を備えるとともに、一般公衆回線を使用して所定のファクシミリ伝送手順により画情報伝送を行う機能を少なくとも備えたインターネットファクシミリ装置において、送信者固有の送信者固有情報を入力する送信者固有情報入力手段を備え、画情報送信時、指定された宛先情報がメールアドレスの場合には、送信画情報を電子メールを用いて送信するとともに、上記送信者固有情報入力手段により入力された送信者固有情報の内容がメールアドレスである場合には上記電子メールのFromフィールドの値にその送信者固有情報の内容を配置する一方、上記  
40 上記送信者固有情報入力手段により入力された送信者固有情報の内容がメールアドレス以外の場合には上記電子メールのSubjectフィールドの値にその送信者固有情報の内容を配置するようにしたものである。

【0012】また、専用線を介して、あるいは、ダイヤルアップ機能によりインターネットサービスプロバイダに接続されたローカルエリアネットワークに接続され、ローカルエリアネットワーク上およびインターネット上での電子メールのやりとりの機能を備えるとともに、一

般公衆回線を使用して所定のファクシミリ伝送手順により画情報伝送を行う機能を少なくとも備えたインターネットファクシミリ装置において、送信者固有の送信者固有情報を入力する送信者固有情報入力手段と、送信メールの属性を入力するためのメール属性情報入力手段を備え、画情報送信時、指定された宛先情報がメールアドレスの場合には、送信画情報を電子メールを用いて送信するとともに、上記送信者固有情報入力手段により入力された送信者固有情報の内容がメールアドレスである場合には上記電子メールのFromフィールドの値にその送信者固有情報の内容を配置する一方、上記上記送信者固有情報入力手段により入力された送信者固有情報の内容がメールアドレス以外の場合には上記電子メールのSubjectフィールドの値にその送信者固有情報の内容を配置するとともに、上記メール属性情報入力手段より送信メールの属性が入力された場合には、その入力された属性の内容を上記電子メールのSubjectフィールドの値に付加するようにしたものである。

【0013】また、専用線を介して、あるいは、ダイヤルアップ機能によりインターネットサービスプロバイダに接続されたローカルエリアネットワークに接続され、ローカルエリアネットワーク上およびインターネット上での電子メールのやりとりの機能を備えるとともに、一般公衆回線を使用して所定のファクシミリ伝送手順により画情報伝送を行う機能を少なくとも備えたインターネットファクシミリ装置において、少ないキー操作で宛先情報を指定操作可能な短縮ダイヤル手段を備え、上記短縮ダイヤル手段には、宛先情報がメールアドレスの場合、その宛先情報に関連して、送信者固有の送信者固有情報も登録され、画情報送信時、上記短縮ダイヤル手段により指定された宛先情報がメールアドレスの場合には、送信画情報を電子メールを用いて送信するとともに、上記短縮ダイヤル手段に、上記宛先情報に関連して記憶されている送信者固有情報を読み出し、その送信者固有情報の内容がメールアドレスである場合には上記電子メールのFromフィールドの値にその送信者固有情報の内容を配置する一方、上記上記送信者固有情報入力手段により入力された送信者固有情報の内容がメールアドレス以外の場合には上記電子メールのSubjectフィールドの値にその送信者固有情報の内容を配置するようにしたものである。

【0014】また、専用線を介して、あるいは、ダイヤルアップ機能によりインターネットサービスプロバイダに接続されたローカルエリアネットワークに接続され、ローカルエリアネットワーク上およびインターネット上での電子メールのやりとりの機能を備えるとともに、一般公衆回線を使用して所定のファクシミリ伝送手順により画情報伝送を行う機能を少なくとも備えたインターネットファクシミリ装置において、送信メールの属性を入力するためのメール属性情報入力手段と、少ないキー操

作で宛先情報を指定操作可能な短縮ダイヤル手段を備えるとともに上記短縮ダイヤル手段には、宛先情報がメールアドレスの場合、その宛先情報に関連して、送信者固有の送信者固有情報も登録され、画情報送信時、上記短縮ダイヤル手段により指定された宛先情報がメールアドレスの場合には、送信画情報を電子メールを用いて送信するとともに、上記短縮ダイヤル手段に、上記宛先情報に関連して記憶されている送信者固有情報を読み出し、その送信者固有情報の内容がメールアドレスである場合には上記電子メールのFromフィールドの値にその送信者固有情報の内容を配置する一方、上記上記送信者固有情報入力手段により入力された送信者固有情報の内容がメールアドレス以外の場合には上記電子メールのSubjectフィールドの値にその送信者固有情報の内容を配置するとともに、上記メール属性情報入力手段より送信メールの属性が入力された場合には、その入力された属性の内容を上記電子メールのSubjectフィールドの値に付加するようにしたものである。

【0015】

【発明の実施の形態】以下、添付図面を参照しながら、本発明の実施の形態を詳細に説明する。

【0016】図1は、本発明の一実施例にかかる通信システムを示している。なお、本発明においては、インターネットを利用するアプリケーションとして電子メールを主として取り上げるので、以下の説明においては、電子メール以外のアプリケーションについては省略している。

【0017】この通信システムは、主として、米国に設けられたローカルエリアネットワークLAN1を中心とするドメインDM1と、日本に設けられたローカルエリアネットワークLAN2を中心とするドメインDM2から構成されている。また、ファクシミリ装置FX1は、米国内に設置され国際電話回線網PSTN（米国内網を含む。）を伝送路として用いるグループ3ファクシミリ装置であり、ファクシミリ装置FX2は、日本国内に設置され国際電話回線網PSTN（日本国内網を含む。）を伝送路として用いるグループ3ファクシミリ装置である。

【0018】また、それぞれのドメインDM1、DM2は、ルータRT1、RT2を介して、インターネットINETのサービスプロバイダ（網接続業者；図示略）に専用線接続されている。

【0019】ここで、ドメインDM1、DM2には、割り当てを受けたネットワークアドレスに所定値のネットマスクを適用して分割した固有のネットワークアドレスが設定されており、それにより、ドメインDM1、DM2の相互間で、ルータRT1、RT2およびインターネットINETを介したデータ伝送を行うことができる。

【0020】また、ドメインDM1には、ローカルエリアネットワークLAN1に接続されているクライアント

端末（パーソナルコンピュータ装置などからなるワークステーション装置一般を指す。）CL1、CL2およびインターネットファクシミリ装置F11に電子メールサービスを提供するためのメールサーバ端末SV1が設けられている。また、例えば、おのおののクライアント端末CL1、CL2、インターネットファクシミリ装置F11、および、メールサーバ端末SV1には、それぞれドメインDM1のネットワークアドレスに固有のアドレスを連結してなる固有のホストアドレスが設定されており、このドメインDM1を使用するユーザは、固有のユーザ名に、いずれかのクライアント端末CL1、CL2のホストアドレスを連結してなるユーザアドレスが設定される。

【0021】同様に、ドメインDM2には、ローカルエリアネットワークLAN2に接続されているクライアント端末（パーソナルコンピュータ装置などからなるワークステーション装置一般を指す。）CL4、CL5およびインターネットファクシミリ装置F12に電子メールサービスを提供するためのメールサーバ端末SV2が設けられている。また、例えば、おのおののクライアント端末CL4、CL5、インターネットファクシミリ装置F12、および、メールサーバ端末SV2には、それぞれドメインDM2のネットワークアドレスに固有のアドレスを連結してなる固有のホストアドレスが設定されており、このドメインDM2を使用するユーザは、固有のユーザ名に、いずれかのクライアント端末CL4、CL5のホストアドレスを連結してなるユーザアドレスが設定される。

【0022】また、インターネットファクシミリF11、F12は、ローカルエリアネットワークLAN1、LAN2に接続して、画情報を電子メールとしてやりとりするための伝送機能と、国際電話回線網（公衆網）PSTNに接続し、この国際電話回線網PSTNを伝送路として用いてグループ3ファクシミリ伝送手順による画情報伝送を行う伝送機能を備えている。

【0023】基本的には、ローカルエリアネットワークLAN1、LAN2に接続されている端末相互間でのデータのやりとり、および、インターネットINETを介して行うデータのやりとりは、いわゆるTCP/IPと呼ばれるトランスポートレイヤまでの伝送プロトコルと、それ以上の上位レイヤの通信プロトコルとの組み合わせ（いわゆるプロトコルスイート）が適用して行われる。例えば、電子メールのデータのやりとりでは上位レイヤの通信プロトコルとしてSMTP（Simple Mail Transfer Protocol）という通信プロトコルが適用される。

【0024】また、本実施例では、電子メールは、メールサーバ端末SV1、SV2にいったん蓄積された後に宛先へと配信される蓄積配信型の伝送形態で送信される。このとき、電子メールに付されている宛先アドレス

（後述）の値が、それぞれのドメインDM1、DM2に設定されているネットワークアドレスを含む場合には、その電子メールは、対応するメールサーバ端末SV1、SV2にそのまま蓄積され、また、電子メールに付されている宛先アドレスの値が、それぞれのドメインDM1、DM2に設定されているネットワークアドレス以外の値を含む場合には、その電子メールは、ルータRT1、RT2を介して、インターネットINETに送り出され、インターネットINETのデータ転送機能により、その宛先アドレスの値に対応したネットワークアドレスを持つ適宜なドメインあるいはホストなどに送信される。

【0025】また、各端末がメールサーバ端末SV1、SV2に対して、ユーザ宛の電子メールの受信確認のために適用するプロトコルは、いわゆるPOP（Post Office Protocol）などが適用される。

【0026】ここに、電子メールには、直接バイナリデータを含ませることができず、所定の変換方法（例えば、Base64符号化方法）を適用して可読情報（7ビットのキャラクタコード）に変換した状態で、電子メールに含められる。このような電子メールの形式をMIME（Multipurpose Internet Mail Extensions（多目的メール）；RFC（後述）1521、RFC1522参照）形式といい、MIME形式の本文情報を作成するための変換処理をMIME変換という。

【0027】また、TCP/IP、SMTP、POPなどの通信プロトコル、および、電子メールのデータ形式やデータ構造などについては、それぞれIETF（Internet Engineering Task Force）というインターネットに関する技術内容をまとめている組織から発行されているRFC（Request For Comments）文書により規定されている。例えば、TCPはRFC793、IPはRFC793、SMTPはRFC821、電子メールの形式は、RFC822、RFC1521、RFC1522（MIME形式）などでそれぞれ規定されている。

【0028】図2は、インターネットファクシミリ装置F11、F12の構成例を示している。

【0029】同図において、システム制御部1は、このファクシミリ装置の各部の制御処理、および、ファクシミリ伝送制御手順処理などの各種制御処理を行うものであり、システムメモリ2は、システム制御部1が実行する制御処理プログラム、および、処理プログラムを実行するときに必要な各種データなどを記憶するとともに、システム制御部1のワークエリアを構成するものであり、パラメータメモリ3は、このファクシミリ装置に固有な各種の情報を記憶するためのものであり、時計回路4は、現在時刻情報を出力するものである。

【0030】スキャナ5は、所定の解像度で原稿画像を読み取るためのものであり、ブロック6は、所定の解像度で画像を記録出力するためのものであり、操作表示部7は、このファクシミリ装置を操作するためのもので、各種の操作キー、および、各種の表示器からなる。

【0031】符号化復号化部8は、画信号を符号化圧縮するとともに、符号化圧縮されている画情報を元の画信号に復号化するためのものであり、画像蓄積装置9は、符号化圧縮された状態の画情報を多数記憶するためのものである。

【0032】グループ3ファクシミリモデム10は、グループ3ファクシミリのモデム機能を実現するためのものであり、伝送手順信号をやりとりするための低速モデム機能（V. 21モデム）、および、おもに画情報をやりとりするための高速モデム機能（V. 17モデム、V. 34モデム、V. 29モデム、V. 27terモデムなど）を備えている。

【0033】網制御装置11は、このファクシミリ装置を国際電話回線網PSTNに接続するためのものであり、自動発信機能を備えている。

【0034】ローカルエリアネットワークインターフェース回路12は、このインターネットファクシミリ装置をローカルエリアネットワークに接続するためのものであり、ローカルエリアネットワーク伝送制御部13は、ローカルエリアネットワークおよびインターネットを介して、他のデータ端末装置との間で種々のデータをやりとりするための所定のプロトコルスイートの通信制御処理を実行するためのものである。

【0035】これらの、システム制御部1、システムメモリ2、パラメータメモリ3、時計回路4、スキャナ5、ブロック6、操作表示部7、符号化復号化部8、画像蓄積装置9、グループ3ファクシミリモデム10、網制御装置11、および、ローカルエリアネットワーク伝送制御部13は、内部バス14に接続されており、これらの各要素間でのデータのやりとりは、主としてこの内部バス14を介して行われている。

【0036】また、網制御装置11とグループ3ファクシミリモデム10との間のデータのやりとりは、直接行なわれている。

【0037】さて、例えば、インターネットファクシミリ装置F12では、インターネットファクシミリ装置F12を直接操作して、クライアント端末CL1、CL2やクライアント端末CL4、CL5のユーザに対して画情報を送信することができる。

【0038】ただし、インターネットファクシミリ装置F12の操作表示部7に備えられている操作キーは、その占有スペースやデザインの統一性などの観点から、例えば、クライアント端末CL（CL1、CL2、CL4、CL5）に備えられているキーボード装置などに比べて操作性が劣る。

【0039】そこで、このような操作性の悪さを解消できるようにするために、ワンタッチダイアルキーに、宛先電話番号のみならず、宛先ユーザのメールアドレス、および、発信ユーザのメールアドレスを登録できるようにしている。ここで、ワンタッチダイアルキーとは、1つのキー（ワンタッチダイアルキー）操作で電話番号などを指定入力することのできるワンタッチダイアルキー機能において、入力手段として用いられるものである。

【0040】そのために、インターネットファクシミリ装置F12には、例えば、図3に示すようなワンタッチダイアルテーブルが保存される。

【0041】このワンタッチダイアルテーブルのそれぞれの要素は、おのおののワンタッチダイアルを識別するための番号、電話番号またはメールアドレスが登録される登録番号、および、登録番号の名称を登録するための登録名称からなる。この場合、登録番号として登録されるメールアドレスと、登録名称として登録される発信ユーザ名を、送信者固有情報として用いることができる。

【0042】図4は、直接操作時のインターネットファクシミリ装置F12の処理の概略を示している。

【0043】まず、ユーザ送信操作が行われる（処理101）。このユーザ送信操作では、ユーザは、スキャナ5に送信原稿をセットし、宛先ユーザのメールアドレスおよび自分のメールアドレスなどを入力し、スタートキーを入力して、送信動作の開始を指令する。

【0044】次に、ユーザ送信操作処理（処理101）で操作入力された内容の解析が行われ（処理102）、その入力情報解析処理の処理内容に応じて電子メールのヘッダ情報が作成される（処理103）。

【0045】そして、送信原稿の読み取り、それによって得られた画像データを符号化復号化部8で符号化圧縮して送信画情報を作成し（処理104）、その送信画情報をMIME変換して（処理105）、電子メールの本文情報を作成し、処理103で作成したヘッダ情報と処理105で作成した本文情報からなる電子メールを、メールサーバに対して送信する（処理106）。

【0046】ユーザ送信操作処理（処理101）の一例を図5に示す。

【0047】まず、発信ユーザは、スキャナ5に送信原稿をセットする（処理201）。次いで、送信宛先の宛先情報をワンタッチキーを用いて入力する（処理202）。なお、このとき、宛先ユーザのメールアドレスなどの宛先情報は、直接操作表示部7のキーを用いて入力することもできる。

【0048】次に、発信ユーザは、操作表示部7に設けられているポーズキー（図示略）を入力し（処理203）、自分に付与されているメールアドレスなどの送信者固有情報を、ワンタッチキーあるいは操作表示部7のキーを用いて入力する（処理204）。なお、送信者固有情報としては、メールアドレスの他に、自分の所属す

る部署名や、自分の名前などがある。また、発信ユーザは、この処理204の送信者固有情報の入力を省略することもできる。

【0049】最後に、操作表示部7に設けられているスタートキー（図示略）を入力し（処理205）、このユーザ送信操作処理を終了する。

【0050】入力情報解析処理（処理102）、および、ヘッダ情報作成処理（処理103）の一例を図6に示す。

【0051】まず、送信宛先がメールアドレスであったかどうかを調べ（判断301）、判断301の結果がNOになるときは、通常のファクシミリ送信処理を実行する（処理302）。

【0052】また、判断301の結果がYESになるときは、次の入力情報があるかどうかを調べ（判断303）、判断303の結果がNOになるときは、例えば、図7（a）に示すように、ヘッダ情報のFromフィールドに自端末に設定されている装置固有アドレス（この場合は、「inet-fax@abcd.co.jp」）を設定するとともに、Subjectフィールドに自端末に設定されている固有内容（この場合は、「FAX Message from Internet FAX」）を設定して（処理304）、この処理を終了する。

【0053】また、判断303の結果がYESになるときは、その入力情報の内容がメールアドレスであるかどうかを調べる（判断305）。判断305の結果がYESになるときは、例えば、図7（b）に示すように、ヘッダ情報のFromフィールドには入力されたメールアドレス（この場合は、「user1@abcd.co.jp」）を設定するとともに、Subjectフィールドに自端末に設定されている固有内容（この場合は、「FAX Message from Internet FAX」）を設定して（処理306）、この処理を終了する。

【0054】また、判断305の結果がNOになるときは、例えば、図7（c）に示すように、ヘッダ情報のFromフィールドには自端末に設定されている装置固有アドレス（この場合は、「inet-fax@abcd.co.jp」）を設定するとともに、Subjectフィールドに入力された送信者固有情報の内容（この場合は、「FAX Message from [発信ユーザ名1]」）を設定して（処理307）、この処理を終了する。なお、この場合には、送信者固有情報として[発信ユーザ名1]が入力されている場合である。

【0055】したがって、この場合には、インターネットファクシミリ装置F12から電子メールを受信したユーザは、例えば、図8に示したような電子メール一覧情報を得ることができ、件名の表示内容（受信した電子メールのSubjectフィールドの内容）、または、発

信者名の表示内容（受信した電子メールのFromフィールドの内容）から、ユーザは、電子メールの内容の予想をすることができ、所望する電子メールを容易に探し出すことができる。

【0056】図9は、本発明の他の実施例にかかるユーザ送信操作処理（処理101）の一例を示している。

【0057】まず、発信ユーザは、スキャナ5に送信原稿をセットする（処理401）。次いで、送信宛先の宛先情報をワンタッチキーを用いて入力する（処理402）。なお、このとき、宛先ユーザのメールアドレスなどの宛先情報は、直接操作表示部7のキーを用いて入力することもできる。

【0058】次に、発信ユーザは、操作表示部7に設けられているポーズキー（図示略）を入力し（処理403）、自分に付与されているメールアドレスなどの送信者固有情報を、ワンタッチキーあるいは操作表示部7のキーを用いて入力する（処理404）。なお、送信者固有情報としては、メールアドレスの他に、自分の所属する部署名や、自分の名前などがある。また、発信ユーザは、この処理404の送信者固有情報の入力を省略することもできる。

【0059】そして、再度ポーズキーを入力し（処理405）、送信メールの属性の内容、例えば、「緊急」や、「重要」などを操作入力する（処理406）。この属性の入力操作は、例えば、あらかじめ属性内容をワンタッチキーに登録している場合には、そのワンタッチキーの選択操作のみで行うこともできし、操作表示部7に属性を入力するための特別なキーを設け、その属性キーを入力操作することで行うようにすることもできる。また、発信ユーザは、この属性の入力を省略することもできる。

【0060】最後に、操作表示部7に設けられているスタートキー（図示略）を入力し（処理407）、このユーザ送信操作処理を終了する。

【0061】図10は、入力情報解析処理（処理102）、および、ヘッダ情報作成処理（処理103）の他の例を示している。

【0062】まず、送信宛先がメールアドレスであったかどうかを調べ（判断501）、判断501の結果がNOになるときは、通常のファクシミリ送信処理を実行する（処理502）。

【0063】また、判断501の結果がYESになるときは、次の入力情報があるかどうかを調べ（判断503）、判断503の結果がNOになるときは、例えば、図7（a）に示すように、ヘッダ情報のFromフィールドに自端末に設定されている装置固有アドレス（この場合は、「inet-fax@abcd.co.jp」）を設定するとともに、Subjectフィールドに自端末に設定されている固有内容（この場合は、「FAX Message from Internet



t FAX」)を設定する(処理504)。

【0064】また、判断503の結果がYESになると  
 ときには、その入力情報の内容がメールアドレスであるか  
 どうかを調べる(判断505)。判断505の結果がY  
 ESになるとときには、例えば、図7(b)に示すよう  
 に、ヘッダ情報のFromフィールドには入力されたメ  
 ールアドレス(この場合は、「user1@abcd.  
 co.jp」)を設定するとともに、Subjectフ  
 ィールドに自端末に設定されている固有内容(この場  
 合は、「FAX Message from Inter 10  
 net FAX」)を設定する(処理506)。

【0065】また、判断505の結果がNOになると  
 ときには、例えば、図7(c)に示すように、ヘッダ情報の  
 Fromフィールドには自端末に設定されている装置固  
 有アドレス(この場合は、「inet-fax@abcd.  
 co.jp」)を設定するとともに、Subjec  
 tフィールドに入力された送信者固有情報の内容(この  
 場合は、「FAX Message from [発信  
 ユーザ名1]」)を設定する(処理507)。

【0066】このようにして、一通りFromフィール  
 ドとSubjectフィールドの内容の設定を終了する  
 と、次に、属性入力が行われているかどうかを調べる(判  
 断508)。判断508の結果がYESになるときに  
 は、例えば、図7(d)に示すように、Subject  
 フィールドの内容を、それまでに設定された内容にその  
 ときに入力された属性の内容を付加したものに変更し  
 (処理509)、この処理を終了する。なお、図7  
 (d)の例では、属性の内容として「<緊急>」を付加  
 している。

【0067】また、判断509の結果がNOになると  
 ときには、そのままこの処理を終了する。 30

【0068】したがって、この場合には、インターネッ  
 トファクシミリ装置F12から電子メールを受信したユ  
 ーザは、例えば、図11に示したような電子メール一  
 覧情報を得ることができ、件名、または、発信者名の表示  
 内容から、ユーザは、電子メールの内容の予想をするこ  
 とができ、所望する電子メールを容易に探し出すことが  
 できる。

【0069】また、メールの属性も同時に表示されるの  
 で、電子メールの重要度や緊急度を知ることができ、電  
 子メールの検索がより簡単になり、使い勝手が大幅に向  
 上する。

【0070】ところで、ワンタッチダイアルテーブルの  
 内容として、図12に示すように、宛先ユーザと発信ユ  
 ーザのメールアドレスを対にして登録するようにする  
 と、発信ユーザは、1つのワンタッチダイアルキーを操  
 作するだけで、宛先ユーザのメールアドレスと自分のメ  
 ールアドレス(発信メールアドレス)を入力することが  
 できるので便利である。

【0071】なお、この場合には、入力情報解析処理 50

(処理103)およびヘッダ情報作成処理(処理10  
 4)では、入力されたワンタッチダイアルキーに登録さ  
 れている登録番号のメールアドレスを宛先メールアドレ  
 スに用い、発信メールアドレスを送信者固有情報として  
 入力されたメールアドレスとして用いるようにすればよい。

【0072】この場合のワンタッチダイアル情報の登録  
 処理の一例を図13に示す。

【0073】まず、宛先の番号情報の登録操作が終了す  
 ると(処理601)、その登録内容がメールアドレスで  
 あるかどうかを調べ(判断602)、判断602の結果  
 がYESになるとときには、例えば、「自分のアドレスを  
 入力しますか?(YES/NO)」という自アドレス入  
 力問い合わせガイダンスメッセージを表示する(処理6  
 03)。

【0074】この自アドレス入力問い合わせガイダンス  
 メッセージに対して、ユーザが「YES」と入力した場  
 合には(判断604の結果がYES)、Fromアドレ  
 ス、すなわち、発信メールアドレスの登録操作を行う  
 (処理605)。

【0075】また、自アドレス入力問い合わせガイダ  
 スメッセージに対して、ユーザが「NO」と入力した場  
 合には(判断604の結果がNO)、発信メールアドレ  
 スの登録操作を行わず、この動作を終了する。

【0076】これにより、ユーザは、ワンタッチダイ  
 アルキーに、宛先メールアドレスと自分のメールアドレス  
 (発信メールアドレス)を登録することができる。

【0077】ところで、上述した実施例では、ワンタッ  
 チダイアルテーブルに登録する送信者固有情報として、  
 発信ユーザ名を用いたが、それ以外の送信者固有情報を  
 登録しておくこともできる。例えば、会社名、部署名、  
 あるいは、ニックネームなどである。

【0078】また、上述した実施例では、送信者固有情  
 報として1つの情報を入力しているが、2つ以上の送信  
 者固有情報を入力することもできる。その場合、メール  
 アドレスはFromフィールドに配置し、それ以外の情  
 報はSubjectフィールドに配置すればよい。

【0079】また、上述した実施例では、インターネッ  
 トファクシミリ装置が公衆網としてPSTNを適用して  
 いるが、ISDNを適用する場合についても、本発明を  
 同様に適用することができる。

【0080】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、  
 インターネットファクシミリ装置から受信した電子メ  
 ールのFromフィールドまたはSubjectフィール  
 ドには、送信者固有情報の内容が配置されるため、ユー  
 ザは、電子メールの一覧情報の内容を参照してそれぞれの  
 電子メールの内容の予想をすることができ、所望する  
 電子メールを容易に探し出すことができるという効果を  
 得る。

【0081】また、発信ユーザは、メールの属性も操作入力でき、それにより、受信側のユーザが受け取る電子メールのSubjectフィールドにメールの属性が付加されるので、受信側のユーザは、電子メールの重要度や緊急度を知ることができ、電子メールの検索がより簡単になり、使い勝手が大幅に向上するという効果も得る。

【0082】また、1つのワンタッチダイアルキーに、宛先ユーザと発信ユーザのメールアドレスが対にして登録されるので、発信ユーザは、1つのワンタッチダイアルキーを操作するだけで、宛先ユーザのメールアドレスと自分のメールアドレス（発信メールアドレス）を入力することができ、発信時の操作性が向上するという効果も得る。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例にかかる通信システムを示したブロック図。

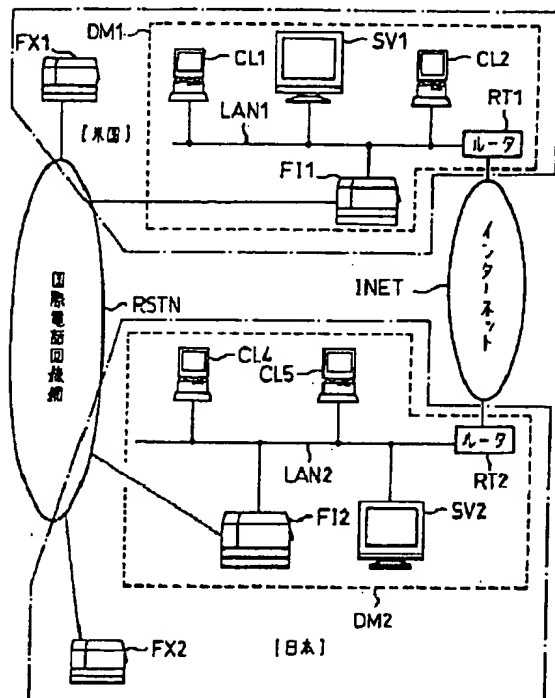
【図2】インターネットファクシミリ装置F11、F12の構成例を示したブロック図。

【図3】ワンタッチダイアルテーブルの一例を示した概略図。

【図4】直接操作時のインターネットファクシミリ装置F12の処理の概略を示したフローチャート。

【図5】ユーザ送信操作処理（処理101）の一例を示す\*

【図1】



\*したフローチャート。

【図6】入力情報解析処理（処理102）、および、ヘッダ情報作成処理（処理103）の一例を示した一チャート。

【図7】ヘッダ情報の一例を示した概略図。

【図8】本発明の一実施例にかかる電子メール一覧情報を例示した概略図。

【図9】本発明の他の実施例にかかるユーザ送信操作処理（処理101）の一例を示したフローチャート。

【図10】入力情報解析処理（処理102）、および、ヘッダ情報作成処理（処理103）の他の例を示したフローチャート。

【図11】本発明の他の実施例にかかる電子メール一覧情報を例示した概略図。

【図12】ワンタッチダイアルテーブルの他の例を示した概略図。

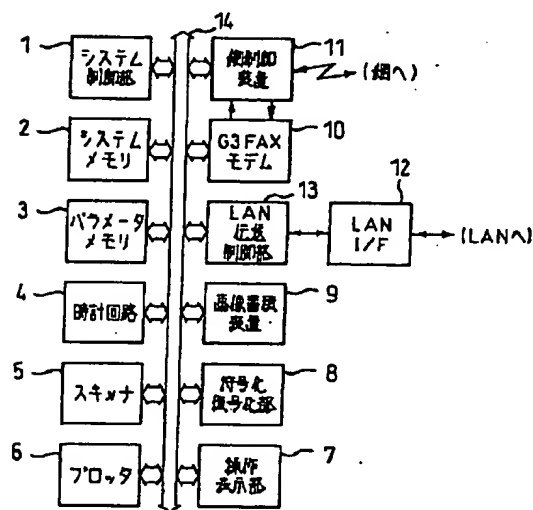
【図13】ワンタッチダイアル情報の登録処理の一例を示したフローチャート。

【図14】電子メール一覧情報の従来例を示した概略図。

【符号の説明】

F11、F12 インターネットファクシミリ装置  
1 システム制御部

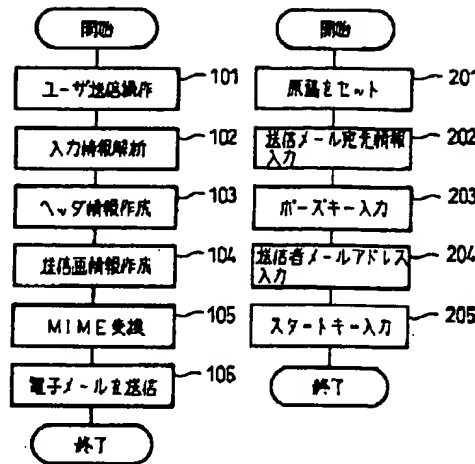
【図2】



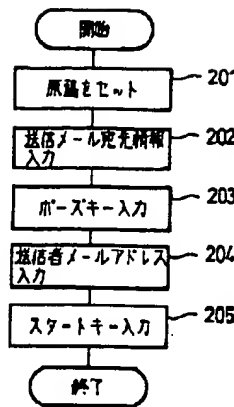
【図3】

番号	登録番号	登録名称
1	0123-4567-8901	△△支店
2	user1@abcd.co.jp	【発信ユーザ名1】
3	user2@abcd.co.jp	【発信ユーザ名2】
4	user-e@xyz.co.jp	【宛先ユーザ名1】
...	...	...

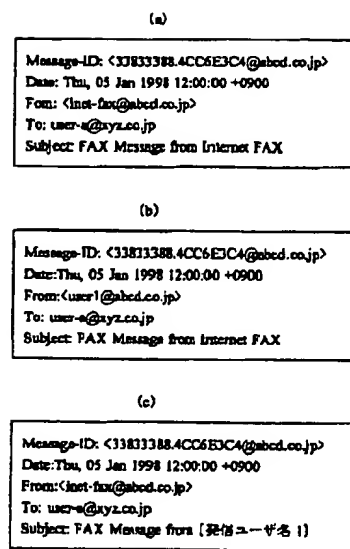
【図4】



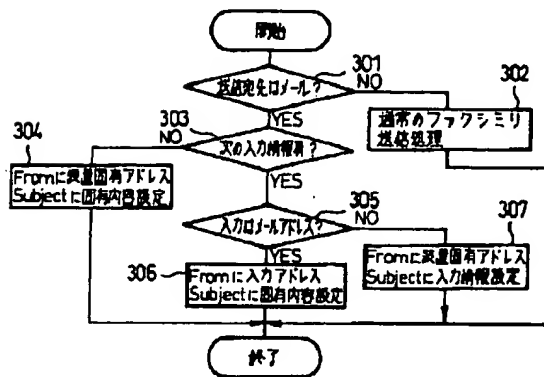
【図5】



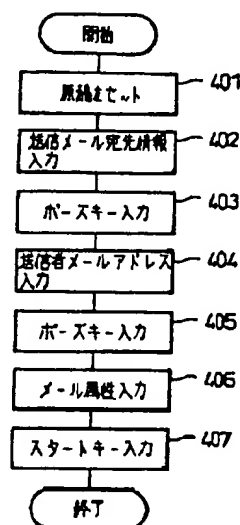
【図7】



【図6】



【図9】



(d)

Message-ID: <33833388.4CC6E3C4@abcd.co.jp>  
 Date: Thu, 05 Jan 1998 12:00:00 +0900  
 From: <inet-fax@abcd.co.jp>  
 To: user-e@xyz.co.jp  
 Subject: <緊急> FAX Message from Internet FAX

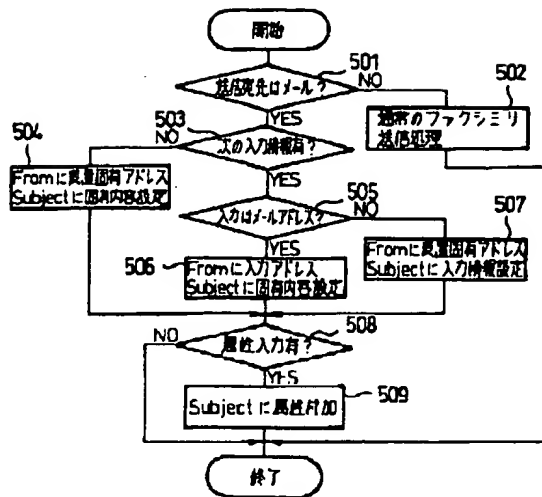
【図8】

番号	件名	日時	発信者
1	FAX Message from Internet FAX	01/05 12:12	inet-fax@abcd.co.jp
2	FAX Message from 【発信ユーザ名1】	01/05 12:15	inet-fax@abcd.co.jp
3	FAX Message from Internet FAX	01/05 13:00	user1@abcd.co.jp
4	FAX Message from Internet FAX	01/05 13:20	user2@abcd.co.jp
5	FAX Message from 【発信ユーザ名2】	01/05 14:40	inet-fax@abcd.co.jp
6	FAX Message from Internet FAX	01/05 15:19	inet-fax@abcd.co.jp
7	FAX Message from Internet FAX	01/05 15:22	user1@abcd.co.jp
8	FAX Message from Internet FAX	01/05 15:38	user1@abcd.co.jp

【図11】

番号	件名	日時	発信者
1	FAX Message from Internet FAX	01/05 12:12	inet-fax@abcd.co.jp
2	FAX Message from 【発信ユーザ名1】	01/05 12:15	inet-fax@abcd.co.jp
3	FAX Message from Internet FAX	01/05 13:00	user1@abcd.co.jp
4	FAX Message from Internet FAX	01/05 13:20	user2@abcd.co.jp
5	FAX Message from 【発信ユーザ名2】	01/05 14:40	inet-fax@abcd.co.jp
6	<緊急> FAX Message from Internet FAX	01/05 15:19	inet-fax@abcd.co.jp
7	<重要> FAX Message from Internet FAX	01/05 15:22	user1@abcd.co.jp
8	<緊急> FAX Message from Internet FAX	01/05 15:38	user1@abcd.co.jp

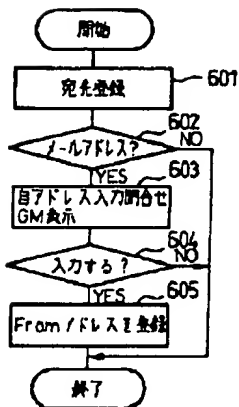
【図10】



【図12】

番号	登録番号	登録名称	発信メールアドレス	発信者名
1	0123-4567-8901	△△支店		
2	user-a@xyz.co.jp	[宛先ユーザ名 1]	user1@abcd.co.jp	[発信ユーザ名 1]
3	user-a@xyz.co.jp	[宛先ユーザ名 1]	user1@abcd.co.jp	[発信ユーザ名 2]
...	...	...	...	...

【図13】



【図14】

番号	件名	日時	発信者
1	FAX Message from Internet FAX	01/05 12:12	inet-fax@abcd.co.jp
2	FAX Message from Internet FAX	01/05 12:15	inet-fax@abcd.co.jp
3	FAX Message from Internet FAX	01/05 13:00	inet-fax@abcd.co.jp
4	FAX Message from Internet FAX	01/05 13:20	inet-fax@abcd.co.jp
5	FAX Message from Internet FAX	01/05 14:40	inet-fax@abcd.co.jp
6	FAX Message from Internet FAX	01/05 15:19	inet-fax@abcd.co.jp
7	FAX Message from Internet FAX	01/05 15:22	inet-fax@abcd.co.jp
8	FAX Message from Internet FAX	01/05 15:38	inet-fax@abcd.co.jp

フロントページの続き

(51)Int. Cl.

H 0 4 N 1/00

1/32

識別記号

1 0 7

F I

H 0 4 L 11/20

1 0 1 C

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第6部門第3区分  
【発行日】平成14年12月20日(2002.12.20)

【公開番号】特開平11-306120  
【公開日】平成11年11月5日(1999.11.5)  
【年通号数】公開特許公報11-3062  
【出願番号】特願平10-123939  
【国際特許分類第7版】

G06F 13/00 354  
351

H04L 12/54  
12/58

H04M 11/00 303

H04N 1/00 107  
1/32

【F I】

G06F 13/00 354 Z  
351 G

H04M 11/00 303

H04N 1/00 107 A  
1/32 Z

H04L 11/20 101 C

【手続補正書】

【提出日】平成14年10月1日(2002.10.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ローカルエリアネットワーク上およびインターネット上の電子メールのやりとりの機能を備えるとともに、一般公衆回線を使用して所定のファクシミリ伝送手順により画情報伝送を行う機能を少なくとも備えたインターネットファクシミリ装置において、送信者固有の送信者固有情報を入力する送信者固有情報入力手段を備え、画情報送信時、指定された宛先情報がメールアドレスの場合には、送信画情報を電子メールを用いて送信するとともに、上記送信者固有情報入力手段により入力された送信者固有情報の内容がメールアドレスである場合には上記電子メールのFromフィールドの値にその送信者固有情報の内容を配置する一方、上記上記送信者固有情報入力手段により入力された送信者固有情報の内容がメールアドレス以外の場合には上記電子メールのSubjectフィールドの値にその送信者固有情報の内容を配置することを特徴とするインターネットファクシミリ装

置。

【請求項2】 ローカルエリアネットワーク上およびインターネット上の電子メールのやりとりの機能を備えるとともに、一般公衆回線を使用して所定のファクシミリ伝送手順により画情報伝送を行う機能を少なくとも備えたインターネットファクシミリ装置において、送信者固有の送信者固有情報を入力する送信者固有情報入力手段と、送信メールの属性を入力するためのメール属性情報入力手段を備え、画情報送信時、指定された宛先情報がメールアドレスの場合には、送信画情報を電子メールを用いて送信するとともに、上記送信者固有情報入力手段により入力された送信者固有情報の内容がメールアドレスである場合には上記電子メールのFromフィールドの値にその送信者固有情報の内容を配置する一方、上記メール属性情報入力手段より送信メールの属性が入力された場合には、その入力された属性の内容を上記電子メールのSubjectフィールドの値に付加することを特徴とするインターネットファクシミリ装置。

【請求項3】 ローカルエリアネットワーク上およびインターネット上の電子メールのやりとりの機能を備えるとともに、一般公衆回線を使用して所定のファクシミリ伝送手順により画情報伝送を行う機能を少なくとも備えたインターネットファクシミリ装置において、

送信者固有の送信者固有情報を入力する送信者固有情報入力手段と、

送信メールの属性を入力するためのメール属性情報入力手段を備え、

画情報送信時、指定された宛先情報がメールアドレスの場合には、送信画情報を電子メールを用いて送信するとともに、上記送信者固有情報入力手段により入力された送信者固有情報の内容がメールアドレスである場合には上記電子メールのFromフィールドの値にその送信者固有情報の内容を配置する一方、上記上記送信者固有情報入力手段により入力された送信者固有情報の内容がメールアドレス以外の場合には上記電子メールのSubjectフィールドの値にその送信者固有情報の内容を配置するとともに、上記メール属性情報入力手段より送信メールの属性が入力された場合には、その入力された属性の内容を上記電子メールのSubjectフィールドの値に付加することを特徴とするインターネットファクシミリ装置。

【請求項4】 ローカルエリアネットワーク上およびインターネット上の電子メールのやりとりの機能を備えるとともに、一般公衆回線を使用して所定のファクシミリ伝送手順により画情報伝送を行う機能を少なくとも備えたインターネットファクシミリ装置において、

少ないキー操作で宛先情報を指定操作可能な短縮ダイヤル手段を備え、

上記短縮ダイヤル手段には、宛先情報がメールアドレスの場合、その宛先情報に関連して、送信者固有の送信者固有情報も登録され、画情報送信時、上記短縮ダイヤル手段により指定された宛先情報がメールアドレスの場合には、送信画情報を電子メールを用いて送信するとともに、上記短縮ダイヤル手段に、上記宛先情報に関連して記憶されている送信者固有情報を読み出し、その送信者固有情報の内容がメールアドレスである場合には上記電子メールのFromフィールドの値にその送信者固有情報の内容を配置する一方、上記上記送信者固有情報入力手段により入力された送信者固有情報の内容がメールアドレス以外の場合には上記電子メールのSubjectフィールドの値にその送信者固有情報の内容を配置することを特徴とするインターネットファクシミリ装置。

【請求項5】 ローカルエリアネットワーク上およびインターネット上の電子メールのやりとりの機能を備えるとともに、一般公衆回線を使用して所定のファクシミリ伝送手順により画情報伝送を行う機能を少なくとも備えたインターネットファクシミリ装置において、送信メールの属性を入力するためのメール属性情報入力手段と、

少ないキー操作で宛先情報を指定操作可能な短縮ダイヤル手段を備えるとともに上記短縮ダイヤル手段には、宛先情報がメールアドレスの場合、その宛先情報に関連し

て、送信者固有の送信者固有情報も登録され、

画情報送信時、上記短縮ダイヤル手段により指定された宛先情報がメールアドレスの場合には、送信画情報を電子メールを用いて送信するとともに、上記短縮ダイヤル手段に、上記宛先情報に関連して記憶されている送信者固有情報を読み出し、その送信者固有情報の内容がメールアドレスである場合には上記電子メールのFromフィールドの値にその送信者固有情報の内容を配置する一方、上記上記送信者固有情報入力手段により入力された送信者固有情報の内容がメールアドレス以外の場合には上記電子メールのSubjectフィールドの値にその送信者固有情報の内容を配置するとともに、上記メール属性情報入力手段より送信メールの属性が入力された場合には、その入力された属性の内容を上記電子メールのSubjectフィールドの値に付加することを特徴とするインターネットファクシミリ装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正内容】

【0011】

【課題を解決するための手段】本発明は、ローカルエリアネットワーク上およびインターネット上の電子メールのやりとりの機能を備えるとともに、一般公衆回線を使用して所定のファクシミリ伝送手順により画情報伝送を行う機能を少なくとも備えたインターネットファクシミリ装置において、送信者固有の送信者固有情報を入力する送信者固有情報入力手段を備え、画情報送信時、指定された宛先情報がメールアドレスの場合には、送信画情報を電子メールを用いて送信するとともに、上記送信者固有情報入力手段により入力された送信者固有情報の内容がメールアドレスである場合には上記電子メールのFromフィールドの値にその送信者固有情報の内容を配置する一方、上記上記送信者固有情報入力手段により入力された送信者固有情報の内容がメールアドレス以外の場合には上記電子メールのSubjectフィールドの値にその送信者固有情報の内容を配置するようにしたものである。また、ローカルエリアネットワーク上およびインターネット上の電子メールのやりとりの機能を備えるとともに、一般公衆回線を使用して所定のファクシミリ伝送手順により画情報伝送を行う機能を少なくとも備えたインターネットファクシミリ装置において、送信者固有の送信者固有情報を入力する送信者固有情報入力手段と、送信メールの属性を入力するためのメール属性情報入力手段を備え、画情報送信時、指定された宛先情報がメールアドレスの場合には、送信画情報を電子メールを用いて送信するとともに、上記送信者固有情報入力手段により入力された送信者固有情報の内容がメールアドレスである場合には上記電子メールのFromフィール

ドの値にその送信者固有情報の内容を配置する一方、上記メール属性情報入力手段より送信メールの属性が入力された場合には、その入力された属性の内容を上記電子メールのSubjectフィールドの値に付加するようにしたものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正内容】

【0012】また、ローカルエリアネットワーク上およびインターネット上の電子メールのやりとりの機能を備えるとともに、一般公衆回線を使用して所定のファクシミリ伝送手順により画情報伝送を行う機能を少なくとも備えたインターネットファクシミリ装置において、送信者固有の送信者固有情報を入力する送信者固有情報入力手段と、送信メールの属性を入力するためのメール属性情報入力手段を備え、画情報送信時、指定された宛先情報がメールアドレスの場合には、送信画情報を電子メールを用いて送信するとともに、上記送信者固有情報入力手段により入力された送信者固有情報の内容がメールアドレスである場合には上記電子メールのFromフィールドの値にその送信者固有情報の内容を配置する一方、上記上記送信者固有情報入力手段により入力された送信者固有情報の内容がメールアドレス以外の場合には上記電子メールのSubjectフィールドの値にその送信者固有情報の内容を配置するとともに、上記メール属性情報入力手段より送信メールの属性が入力された場合には、その入力された属性の内容を上記電子メールのSubjectフィールドの値に付加するようにしたものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正内容】

【0013】また、ローカルエリアネットワーク上およびインターネット上の電子メールのやりとりの機能を備えるとともに、一般公衆回線を使用して所定のファクシミリ伝送手順により画情報伝送を行う機能を少なくとも備えたインターネットファクシミリ装置において、少ないキー操作で宛先情報を指定操作可能な短縮ダイヤル手段を備え、上記短縮ダイヤル手段には、宛先情報がメー

ルアドレスの場合、その宛先情報に関連して、送信者固有の送信者固有情報も登録され、画情報送信時、上記短縮ダイヤル手段により指定された宛先情報がメールアドレスの場合には、送信画情報を電子メールを用いて送信するとともに、上記短縮ダイヤル手段に、上記宛先情報に関連して記憶されている送信者固有情報を読み出し、その送信者固有情報の内容がメールアドレスである場合には上記電子メールのFromフィールドの値にその送信者固有情報の内容を配置する一方、上記上記送信者固有情報入力手段により入力された送信者固有情報の内容がメールアドレス以外の場合には上記電子メールのSubjectフィールドの値にその送信者固有情報の内容を配置するようにしたものである。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正内容】

【0014】また、ローカルエリアネットワーク上およびインターネット上の電子メールのやりとりの機能を備えるとともに、一般公衆回線を使用して所定のファクシミリ伝送手順により画情報伝送を行う機能を少なくとも備えたインターネットファクシミリ装置において、送信メールの属性を入力するためのメール属性情報入力手段と、少ないキー操作で宛先情報を指定操作可能な短縮ダイヤル手段を備えるとともに上記短縮ダイヤル手段には、宛先情報がメールアドレスの場合、その宛先情報に関連して、送信者固有の送信者固有情報も登録され、画情報送信時、上記短縮ダイヤル手段により指定された宛先情報がメールアドレスの場合には、送信画情報を電子メールを用いて送信するとともに、上記短縮ダイヤル手段に、上記宛先情報に関連して記憶されている送信者固有情報を読み出し、その送信者固有情報の内容がメールアドレスである場合には上記電子メールのFromフィールドの値にその送信者固有情報の内容を配置する一方、上記上記送信者固有情報入力手段により入力された送信者固有情報の内容がメールアドレス以外の場合には上記電子メールのSubjectフィールドの値にその送信者固有情報の内容を配置するとともに、上記メール属性情報入力手段より送信メールの属性が入力された場合には、その入力された属性の内容を上記電子メールのSubjectフィールドの値に付加するようにしたものである。